

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第1巻第10号

第23週(6月4日～6月10日)

発行年月日:平成13年(2001年)6月19日
 発行:滋賀県立衛生環境センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (23週)	累積報告数 (1週～23週)
1類感染症	報告なし	-	-
2類感染症	細菌性赤痢	0	2
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	15
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2
	急性ウイルス性肝炎	0	1
	後天性免疫不全症候群	0	1
	ジアルジア症	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	23週	増減	17～22週の平均
インフルエンザ	0		0.13
咽頭結膜熱	1.19		1.02
A群溶連菌咽頭炎	0.33		0.45
感染性胃腸炎	1.69		3.95
水痘	1.19		1.30
手足口病	0.19		0.12
伝染性紅斑	0.23		0.26
突発性発疹	0.40		0.52
百日咳	0		0.02
風疹	0		0.01
ヘルパンギーナ	0.69		0.17
麻疹	0.25		0.25
流行性耳下腺炎	0.85		1.19
急性出血性結膜炎	0		0.02
流行性角結膜炎	0.43		1.14
急性脳炎	0		0.02
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0.29		0.07
マイコプラズマ肺炎	0		0.36
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0.02

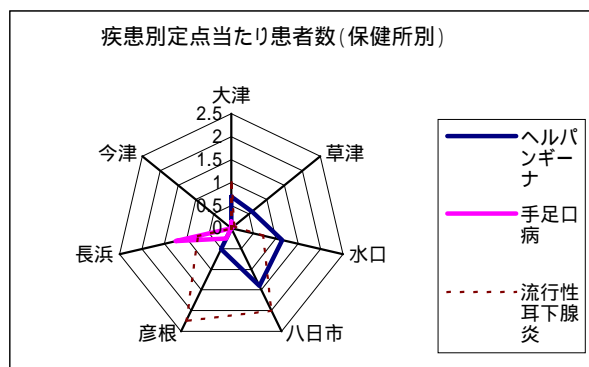
* 増減は、17週～22週の平均に対する今週との比較
 増加 減少 変化なし

* 太字は、今週の注目される疾患です。

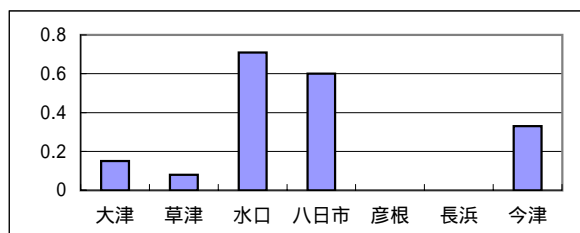
3) 今週のトピックス

患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、17～22週の平均と23週を比較すると、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎に増加傾向が見られます。また、全国的に増加傾向となっている麻疹は、滋賀県においては全国平均よりも低くなっています(2～3ページのグラフ参照)。

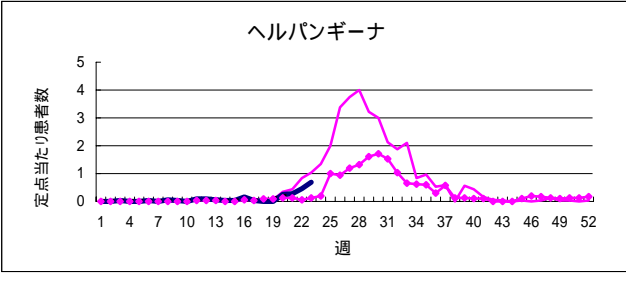
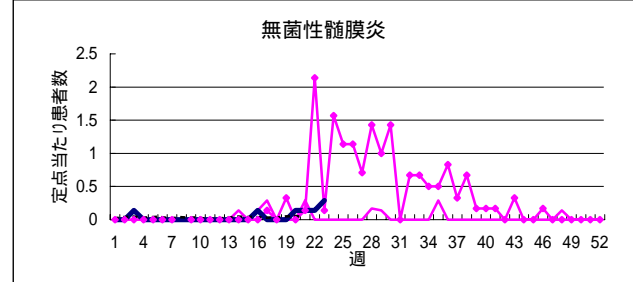
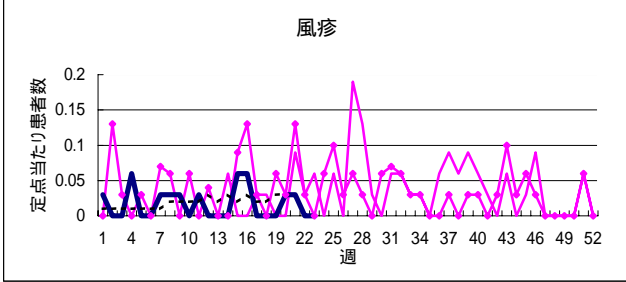
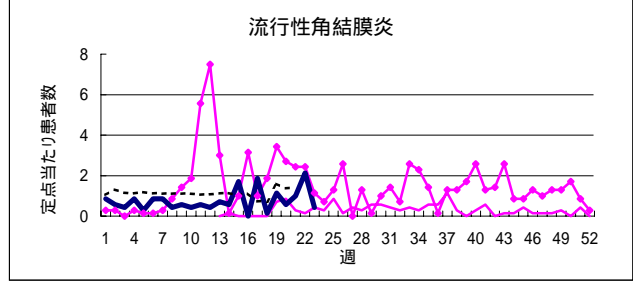
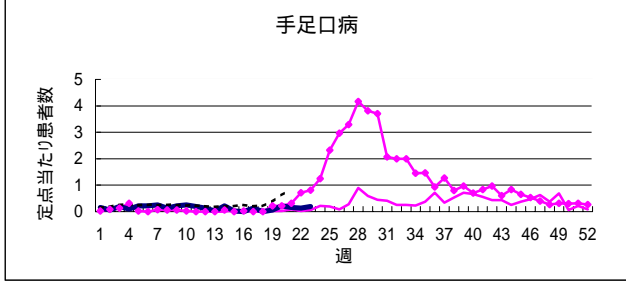
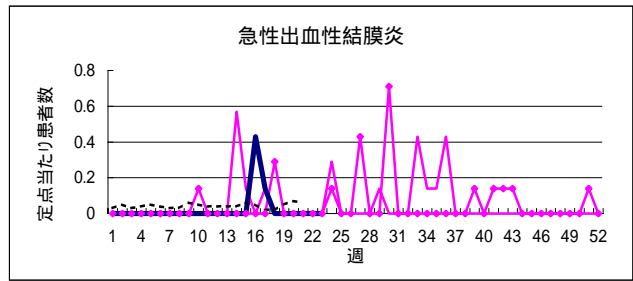
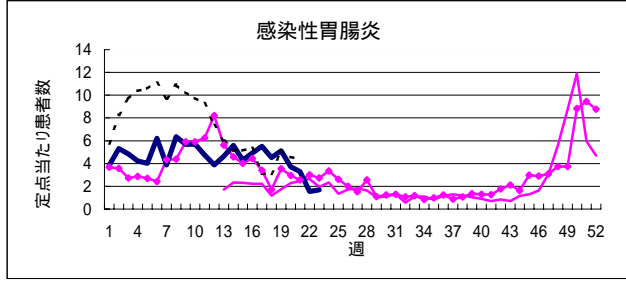
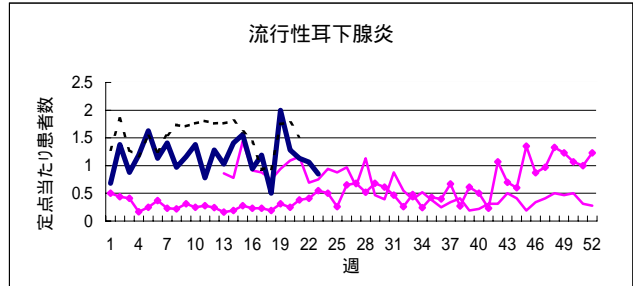
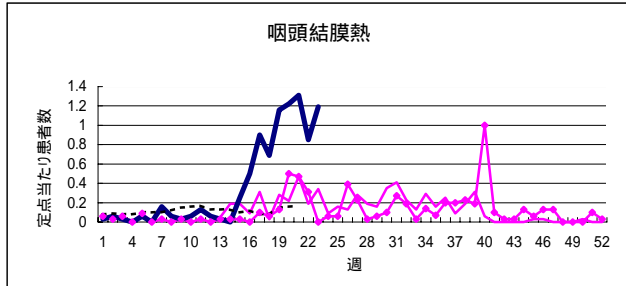
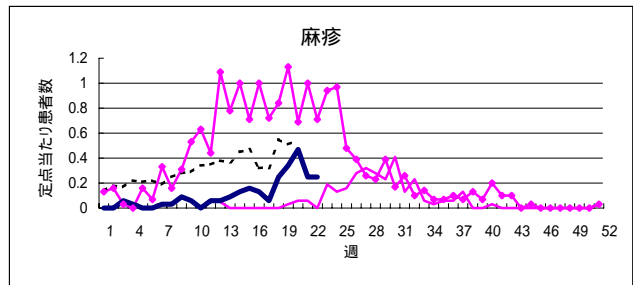
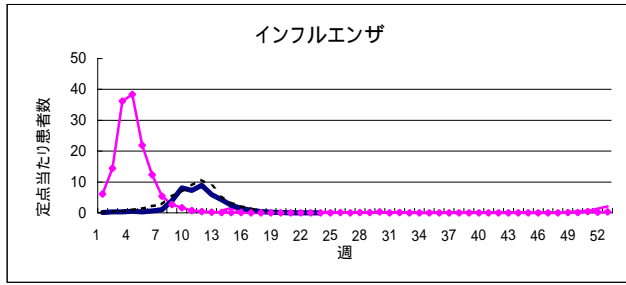


県内における麻疹の発生状況(保健所別・定点当たり患者数)



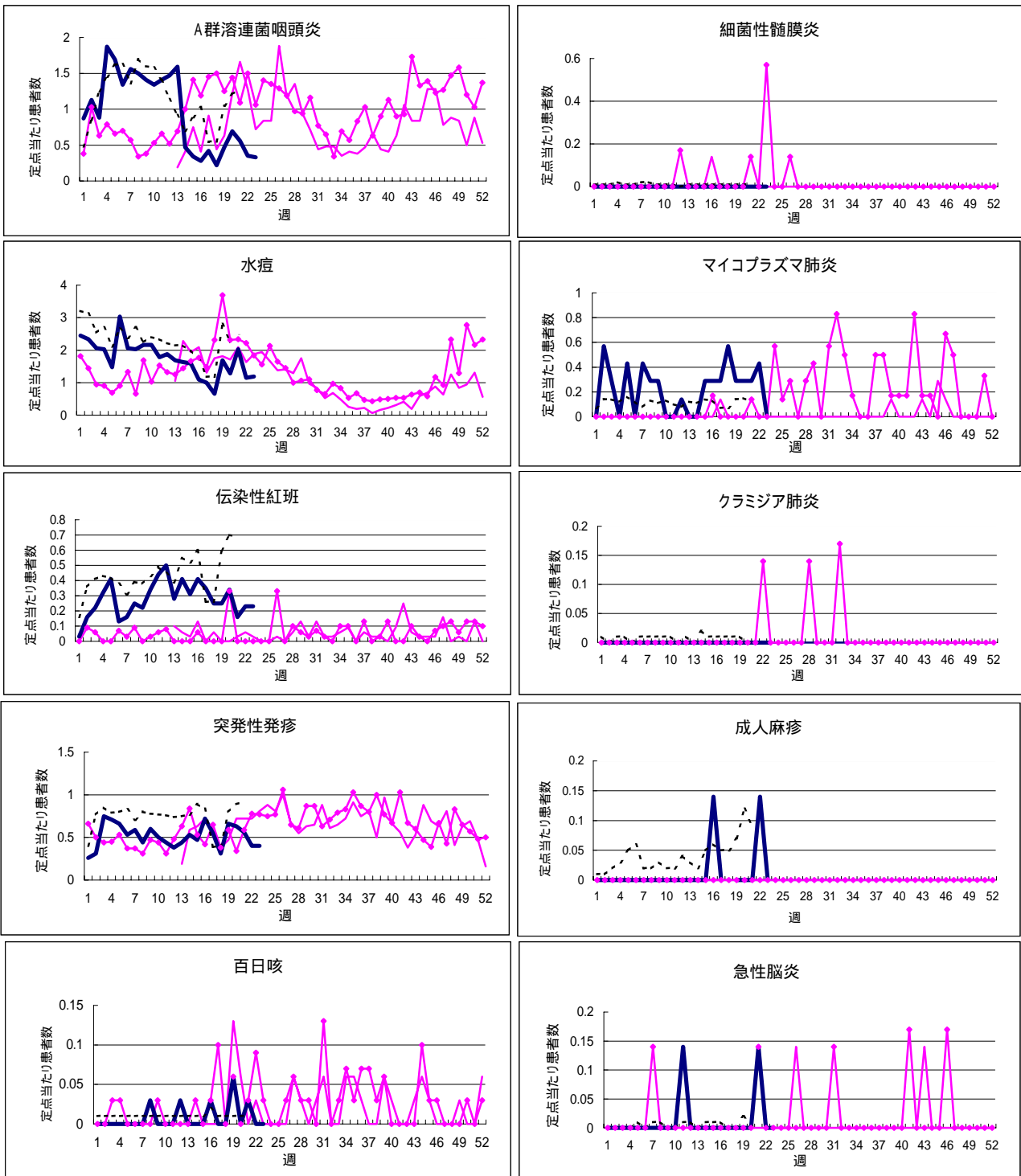
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。
 (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第23週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●————●
 H13 —————
 全国 { H13 - - - - -

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第23週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●——●
 H13 ————
 全国 { H13 ————
 H13 - - - -